

中小企業の 未来をひらく AI活用

参加費無料

現場改善・経営革新・
人材育成への
実践的アプローチ

2026.12.12(土) 13:30-16:30 申込締切: 2026.12.10(木)

会場: 専修大学神田校舎 7号館731教室 (東京都千代田区神田神保町3-8)

開催方法: ハイブリッド開催(対面+オンライン配信) ※「Zoom」使用

第22回
専修大学大学院商学研究科×東京信用保証協会
共同公開講座

PROGRAM

プログラム

13:30-13:35

PROGRAM 01 主催者挨拶

専修大学大学院
商学研究科長 / 商学部教授 鹿住 倫世

13:35-14:05 第1部

PROGRAM 02 AI導入はオートメーション化ではない

専修大学大学院
商学研究科 商学部教授 高橋 裕

14:05-15:05 第2部

PROGRAM 03

IoTからAIファースト経営へ
～旭鉄工のDX進化論～

旭鉄工株式会社
経営企画部長 生田 厚史氏

旭鉄工株式会社
経営企画副部長
AI経営設計室 室長 鳥居 克成氏

15:15-16:20

PROGRAM 04

中小企業の経営課題をAIでどう乗り越えるか
～導入の壁・現場定着・人材育成を考える～



コーディネーター

専修大学大学院
商学研究科
商学部教授
博士(経営学)

谷守 正行



パネリスト

旭鉄工株式会社
経営企画部長

生田 厚史



パネリスト

日本大学 商学部
特任教授
専修大学大学院
商学研究科 客員教授

川野 克典



パネリスト

専修大学大学院
商学研究科
商学部教授

高橋 裕

16:20-16:30

PROGRAM 05

東京信用保証協会からのお知らせ



専修大学 大学院商学研究科



東京信用保証協会

PROFILE

登壇者紹介

講演会第1部講師

高橋 裕

Yutaka Takahashi

専修大学 大学院
商学研究科 商学部教授
情報科学センター長
数理データサイエンスAI教育運営委員長
情報セキュリティ委員長
スマートキャンパス推進会議代表

1999年に学習院大学にて博士(経営学)。1999年専修大学専任講師。以後、助教授・准教授を経て2008年より教授。情報科学・情報技術関連の科目とビジネスに関するコンピュータシミュレーションの科目を主に担当。主たる専門は社会システムのコンピュータシミュレーション理論であるシステム・ダイナミクス並びにシステム思考。学外では2024年より日本システム・ダイナミクス学会、厚生労働省公共調達中央監視委員会第2分科会(主にIT調達)会長を任じるほか、企業のアドバイスを手掛ける。

講演会第2部講師

生田 厚史

Atsushi Ikuta

旭鉄工株式会社
経営企画部長

旭鉄工株式会社入社後、生産技術(鍛造・ダイカスト・プレス・切削)、営業、原価管理、経営企画など、製造業の幅広い分野を経験。アイシンへの出向では、マニュアルトランスミッション(MT)の設計開発に携わり、現場から設計・開発・経営まで一貫した実務経験を積む。また、自動車部品に加え、スポーツ用品やBtoC商品の企画・開発にも従事し、多様な製品・事業の立ち上げを推進してきた。現在は経営企画部長として、経営企画、原価管理、広報を統括。TPS(トヨタ生産方式)を基盤とした改善活動に加え、生成AIを経営・業務・人材育成に組み込む「AIファースト経営」を推進している。AIを単なる業務効率化ツールではなく、人の判断を支え、組織の知恵を資産化する仕組みとして活用し、製造業の競争力向上と企業変革に取り組む。また、情報発信を通じて、製造業におけるDX・AI活用の普及にも力を注いでいる。

講演会第2部講師

鳥居 克成

Katsunari Torii

旭鉄工株式会社
経営企画副部長
AI経営設計室 室長

旭鉄工株式会社入社後、機械製造部において、切削加工および組付加工を中心とした生産業務に従事するとともに、生産管理・工程管理など、製造現場の運営全般に携わってきました。その後、全社のものづくり改革を担う専門部署「ものづくり改革室」に異動し、TPS(トヨタ生産方式)を基軸とした社内自主研活動の推進、現場改善、人材育成に従事しました。さらに、自社開発のIoTシステムを改善活動に取り入れ、現場データに基づく課題の可視化と生産性向上を推進するなど、デジタル技術と現場改善を融合した取り組みを実践してきました。2018年からは、グループ会社であるi Smart Technologies株式会社へ出向し、地方自治体が主催するIoT・DX推進事業の受託、企業向け研修、製造業を中心とした改善支援・DX支援に携わりました。現場に深く入り込み、課題抽出から改善テーマの設定、実行支援、人材育成までを一貫して担当し、多くの企業における生産性向上と改善活動の定着を支援してきました。現在は、旭鉄工株式会社 経営企画部 AI経営設計室に所属し、生成AIをはじめとする先端技術の社内活用推進と、AIを前提とした業務・組織・意思決定プロセスの再設計に取り組んでいます。これまで培ってきた製造現場、TPS、IoT、DX、AIに関する知見を融合し、現場の知恵を組織の力へと変え、人とデジタルが共に価値を生み出す仕組みづくりに注力しています。

トークセッションコーディネーター

谷守 正行

Masayuki Tanimori

専修大学大学院
商学研究科
商学部教授
博士(経営学)

専門研究分野は、経営管理、管理会計、AI/デジタルの業務適用、金融機関の経営・管理会計、サブスクリプション/ダイナミック・プライシングの研究。日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA)、日本原価計算研究学会理事。最近の関連論文は「AIによる管理会計の進化と変革—特集 AIと会計・監査」『証券アナリストジャーナル』, 2023, 61(9): 16–25。や「管理会計のデジタル・トランスフォーメーションに関する調査研究: ケースに基づく考察と示唆」『メルコ管理会計研究』, 2024, 15(2): 35–50。など。

トークセッションパネリスト

川野 克典

Katsunori Kawano

日本大学 商学部 特任教授
専修大学大学院 商学研究科 客員教授

1992年に青山学院大学経営学部を卒業後、アルプス電気(現アルプスアルパイン)に入社し、経理、情報システム、経営企画等に従事。1996年にアーサーアンダーセン(現PwCコンサルティング)に転職し、会計コンサルティングやERPパッケージソフトウェア導入等を担当。2008年から日本大学商学部で教員を務め、2025年に定年退職となって、現職。近著に「管理会計・原価計算の変革—競争力を強化する経理・財務部門の役割」、『経理DXの考え方・進め方Q&A』がある。

REGISTRATION

申し込み方法

専修大学ホームページより、所定の申込フォームに必要事項をご入力の上、お申込ください。

step

1

QRコードから
申込ページへ



step

2

申込入力完了すると
登録完了メールが届く



step

3

当日は登録完了メールを
受付でご提示ください



※オンラインセミナーは「Zoom」での配信を予定しております。安定したインターネット環境をご準備ください。
受講者には、開催日前日までにメールにて参加用URLをご案内いたします。

お問い合わせ

申込、オンライン配信に関すること

専修大学 大学院事務部 大学院事務課

03-3265-6568

講座の内容に関すること

東京信用保証協会 経営支援部 経営支援課

03-6264-1831

注意事項

【個人情報の取り扱いについて】お申込の際にご提供いただいた情報は、本講座に関する連絡、記録のために使用いたします。また、専修大学及び東京信用保証協会主催のセミナーのご案内などの各種情報提供、参加者の実態調査・分析、相談業務のために使用する場合があります。天災、講師の急病、その他やむを得ない事情により、開催を中止・変更することがございますので、あらかじめご了承ください。